



■学術論文■

[原著]

Nishimoto, S., Oyama, T. and Matsuda, K. (2007) Simultaneous concentration of platelets and marrow cells: a simple and useful technique to obtain source cells and growth factors for regenerative medicine. *Wound Repair Regen*, 15, 156-62.

Nishimoto, S., Oyama, T., Tsugawa, T. and Toda, N. (2007) Platelet Rich Plasma (PRP) Supplementation for Phalangeal Pseudoarthrosis Treatment: A preliminary case report. *The Internet Journal of Plastic Surgery*, 2007, Volume 4, Number 2.

■学会発表■

[指定講演]

垣淵正男 (2007) 皮膚科から形成外科への診療連携。(特別講演) 第53回尼崎臨床皮膚科勉強会, 6.28, 尼崎.

垣淵正男 (2007) 眼瞼下垂の治療について。(特別講演) 第23回阪南眼科勉強会, 7.21, 泉大津.

西本 聡 (2007) 多血小板血漿 (PRP) について.

(特別講演) 第4回近畿形成外科医会連合学術集会 (第26回大阪形成外科医会), 7.28, 大阪.

福田健児 (2007) 分層採皮膚の創傷治療における適正湿度の検討.

(特別講演) 第1回近畿創傷マネジメント研究会セミナー, 12.15, 大阪 (大阪第一ホテル).

福田健児 (2007) マウス皮膚欠損モデルにおける被覆材による治癒速度の検討—第一報.

(特別講演) 第1回近畿創傷マネジメント研究会セミナー, 12.15, 大阪 (大阪第一ホテル).

[シンポジウム等]

垣淵正男, 西本 聡, 福田健児, 河合建一郎, 横山茂和, 蔭山晶子, 小熊 孝, 妻野知子, 藤田和敏 (2007) 移植神経に対する端側神経縫合—顔面神経再建への応用—.

(シンポジウム) 第34回日本マイクロサージャリー学会学術集会, 10.18-19, 福島. (抄録集, 75, 2007.)

垣淵正男 (2007) 眼窩ブローアウト骨折の整復術式について. (パネルディスカッション)

第25回日本頭蓋顎顔面外科学会総会・学術集会, 11.8-9, 東京. (抄録集, 16, 2007.)

[一般講演]

河合建一郎 (2007) 当科における悪性腫瘍切除後眼瞼部全層欠損の再建法.

第 18 回眼瞼・義眼床手術研究会, 2.24, 京都.

妻野知子, 垣淵正男, 西本 聡, 福田健児, 河合建一郎, 門脇未来, 蔭山晶子 (2007)

野球による顔面骨骨折症例の検討.

第 50 回日本形成外科学会総会・学術集会, 4.11-13, 東京. (抄録集, 153, 2007.)

垣淵正男, 西本 聡, 福田健児, 河合建一郎, 門脇未来, 妻野知子, 蔭山晶子 (2007)

Open approach による斜鼻の治療経験.

第 50 回日本形成外科学会総会・学術集会, 4.11-13, 東京. (抄録集, 155, 2007.)

河合建一郎, 垣淵正男, 西本 聡, 福田健児, 門脇未来, 蔭山晶子, 妻野知子 (2007)

当科における眼瞼部全層欠損の再建法について.

第 50 回日本形成外科学会総会・学術集会, 4.11-13, 東京. (抄録集, 184, 2007.)

門脇未来, 垣淵正男, 西本 聡, 福田健児, 河合建一郎, 蔭山晶子, 妻野知子 (2007)

先天性眼瞼下垂に対する大腿筋膜移植術の検討.

第 50 回日本形成外科学会総会・学術集会, 4.11-13, 東京. (抄録集, 187, 2007.)

西本 聡, 大山知樹, 福田健児, 河合建一郎, 門脇未来, 蔭山晶子, 妻野知子, 垣淵正男 (2007)

Fronto-Orbital advancement における従来法と骨延長法の適応.

第 50 回日本形成外科学会総会・学術集会, 4.11-13, 東京. (抄録集, 251, 2007.)

福田健児, 西本 聡, 河合建一郎, 門脇未来, 妻野知子, 蔭山晶子, 垣淵正男 (2007)

超高齢者における眼窩, 眼瞼悪性腫瘍の経験.

第 50 回日本形成外科学会総会・学術集会, 4.11-13, 東京. (抄録集, 294, 2007.)

Nishimoto, S. (2007) Midface advancement for syndromic craniosynostosis (Lefort III).

3rd Asia Pacific Congress on Craniofacial Surgery and Distraction Osteogenesis, 4.29-5.4,

Bands Island, Republic of Maldives.

横山茂和, 垣淵正男, 西本 聡, 福田健児, 河合建一郎, 蔭山晶子, 妻野知子, 藤田和敏 (2007)

端側神経縫合を用いた大耳介神経による顔面神経再建の経験.

兵庫県マイクロサージャリー研究会, 5.19, 神戸.

蔭山晶子, 垣淵正男, 西本 聡, 福田健児, 河合建一郎, 横山茂和, 妻野知子, 藤田和敏 (2007)

外眼筋の絞扼を認めた眼窩骨折の経験. 第 27 回兵庫県形成外科医会研究会, 5.26, 神戸.

Nishimoto, S. (2007) Platelet rich plasma derived from bone marrow aspirate.

52nd Annual Meeting The Plastic Surgery Research Council, 6.20-23, Stanford, California.

妻野知子 (2007) 心臓カテーテル後に発生した背部皮膚潰瘍の 1 例.

第 7 回兵庫褥創・皮膚潰瘍研究会, 6.30, 神戸.

藤田和敏, 垣淵正男, 西本 聡, 福田健児, 河合建一郎, 小熊 孝, 妻野知子, 蔭山晶子, 横山茂和 (2007)  
右上半身Ⅲ度熱傷から発症した Probable Toxic Shock Syndrome の一例.

第 4 回近畿形成外科医会連合学術集会 (第 26 回大阪形成外科医会), 7.28, 大阪.

横山茂和, 垣淵正男, 西本 聡, 福田健児, 河合建一郎, 蔭山晶子, 妻野知子, 藤田和敏 (2007)  
切断を回避できた上腕部重度熱圧挫傷の 1 例. 第 21 回神戸形成外科集団会, 9.8, 神戸.

河合建一郎 (2007) 皮膚創部での TRP (Transient Receptor Potential) 遺伝子発現について.  
第 16 回日本形成外科学会基礎学術集会, 10.11-12, 神戸. (抄録集, 18, 2007.)

西本 聡 (2007) ウサギの皮膚灌流圧 (SPP) 測定. 第 16 回日本形成外科学会基礎学術集会,  
10.11-12, 神戸. (抄録集, 28, 2007.)

福田健児 (2007) 骨膜弁を用いた眉毛挙上術.  
第 25 回日本頭蓋顎顔面外科学会総会・学術集会, 11.8-9, 東京. (抄録集, 23, 2007.)

小熊 孝 (2007) 鼻骨骨折整復後の吊り上げ固定法.  
第 25 回日本頭蓋顎顔面外科学会総会・学術集会, 11.8-9, 東京. (抄録集, 30, 2007.)

妻野知子 (2007) hemifacial microsomia の成人例の治療経験.  
第 25 回日本頭蓋顎顔面外科学会総会・学術集会, 11.8-9, 東京. (抄録集, 35, 2007.)

西本 聡 (2007) 頭蓋骨, 硬膜欠損後に生じた増大する拍動性皮下水腫に対する治療.  
第 25 回日本頭蓋顎顔面外科学会総会・学術集会, 11.8-9, 東京. (抄録集, 37, 2007.)

蔭山晶子, 垣淵正男, 西本 聡, 福田健児, 河合建一郎, 横山茂和, 小熊 孝, 妻野知子, 藤田和敏 (2007)  
動眼神経麻痺を伴う眼瞼下垂の治療経験. 第 28 回兵庫県形成外科医会研究会, 11.17, 神戸.

西本 聡, 河合建一郎, 妻野知子, 福田健児, 蔭山晶子, 横山茂和, 藤田和敏, 小熊 孝, 垣淵正男 (2007)  
慢性虚血肢の創傷治癒遅延に対する末梢血および骨髓血由来多血小板血漿の効果.  
第 37 回日本創傷治癒学会, 12.6-7, 横浜. (日本創傷治癒学会プログラム・抄録集 37 回, 69, 2007.)

#### ■科学研究費補助金■

名 前	期 間	金額 (円)	区 分	研究課題名
西本 聡	平成 19 年度～ 平成 20 年度	4,680,000	基盤研究 (C)	慢性虚血肢潰瘍に対する末梢血および 骨髓由来多血小板血漿の治療効果
福田 健児	平成 19 年度～ 平成 20 年度	2,870,000	若手研究 (B)	創傷治癒における適正湿潤度の検索
河合 建一郎	平成 19 年度～ 平成 20 年度	3,610,000	若手研究 (B)	アディポサイトカイン、ミオカインの 糖尿病性創傷治癒遅延への影響
横山 茂和	平成 19 年度～ 平成 20 年度	3,075,000	若手研究 (スタートアップ)	放射線性難治性潰瘍に対する 脂肪組織由来幹細胞の効果
蔭山 晶子	平成 19 年度～ 平成 20 年度	4,290,000	若手研究 (B)	創傷治癒過程における Adiponectin, Calreticulin の役割